

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 2 月 24 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ボイラー（熱源）の更新による温室効果ガス削減事業
承認番号	JCDM-PJKC0769
排出削減事業者名	ジャスマックプラザ株式会社
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人 北海道環境財団
事業実施場所	ジャスマックプラザ株式会社 (北海道札幌市中央区南 7 条西 3 丁目)
事業の概要	本事業は高効率のガスボイラーへの設備更新と、A 重油から天然ガスへの燃料転換により、二酸化炭素排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度：188t CO ₂ /年 2009 -2012 年度：492 t CO ₂ /年 2013~2015 年度：492 t CO ₂ /年 2016 年度：328tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 3,960tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2008 年 12 月 1 日 終了予定日 2016 年 11 月 30 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2016 年 11 月 30 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新 方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年8月31日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である

排出削減量	1,964 tCO ₂ （2013年4月1日～2016年8月31日）
-------	---

3

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガスの購買伝票及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 都市ガスの購買伝票及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 都市ガスの購買伝票及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 都市ガスの購買伝票及び事業者へのヒアリング並びに北海道ガス公表値、J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認

	排出削減量の算定結果を都市ガスの購買伝票との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2016 年 8 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2016 年 11 月 30 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算-157.2kL、熱量換算-6,095GJであることを確認した。

これは、事業実施前後の設備において、高位発熱量換算することにより効率が逆転しており、CO₂削減量の計算においては事業実施後の設備が低下していることが原因となっている。

以 上